

きほく通信

第86号
令和3年
2月24日
発行

難病
患者家族会
きほく

【会長】 神森 和子
紀の川市中三谷
【相談室】 0736(75)4413
【事務局】 〒649-6612 紀の川市北涌371
森田方 TEL 0736(75)4413

精武会が署名募金

事務局 森田良恒



毎年「難病・長期慢性
疾病・小児慢性特定疾患
対策の総合的な推進を求
める」請願署名の署名と
募金にご協力いただい
ている日本精武会の皆さ
方から、署名と募金が事
務局に届けられました。
コロナ禍で日本精武会
の活動も制限されている
なか、少しでも難病患者
の手助けができればと大
変な状況にもかかわらず、
会員のみならず多くの方々
に呼びかけを行っていただき
ました。

代表で持参いただいた大西三郎さん（写真左）は「こういうときですから、難病患者はなお大変だと思えますので少しでもお手伝いができればと皆さんにご協力いただきました。お役に立てればうれしいです」とお話ししてくれました。

なお、署名は196筆、募金は27,973円でした。心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

署名は事務局集約分254筆と合わせて450筆を和歌山県難病団体連絡協議会に送付させていただきます。

国会請願活動が実施される状況になれば、通常国会終了に合わせて県内選出衆参国會議員に提出させていただきます。

2021年2月19日

厚生労働大臣 田村 憲久 様

新型コロナワクチン接種推進担当大臣 河野 太郎 様

一般社団法人日本難病・疾病団体協議会

代表理事 森 和子

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-11-2-604

TEL 03-6902-2803 FAX 03-6902-2084

新型コロナウイルスワクチンの接種に関する要望書

日頃より、難病・長期慢性疾患対策の推進・強化にご尽力を賜り深く感謝申し上げます。また、新型コロナウイルスによる感染症への対応につきましては、日々刻々と状況が変わる中、万全の対策をとるよう鋭意努力され、そのご尽力に大変感謝申し上げます。

さて、新型コロナワクチン接種における優先接種の対象となる基礎疾患を有する患者には、難病・長期慢性疾患患者が多く含まれておりますが、その接種方法等について、各自治体による接種方法のばらつきへの不安の他、アレルギー反応を起こしやすいのではないかと不安、集団接種の際の感染の危険への不安（免疫抑制状態にある患者等から）、自宅での接種希望（重篤な難病等により人工呼吸器を使用している患者等から）、筋肉注射への不安（筋肉の難病を抱える患者等から）、など、難病・長期慢性疾患の患者や患者団体から、弊協議会にも大変不安な声が多く寄せられています。

つきましては、新型コロナワクチン接種にあたっては、難病患者や長期慢性疾患患者など基礎疾患を持った患者等が安心してワクチン接種を受けられるよう、その対策に万全を期して頂くよう下記の事項を要望致します。

<要望事項>

1. 新型コロナワクチン接種について、国民への正確な情報提供と円滑な実施のための対策の徹底に努めるとともに、難病患者や長期慢性疾患患者など、基礎疾患をもつ患者が安心して接種を受けられるよう、学会等の専門家の協力を得ながら、新型コロナワクチン接種に関する上記患者向けの知識の普及と対策の実施、安全なワクチン接種の実施やそのための地方自治体等への指導・助言に努めること。
2. 引き続き、新型コロナウイルスによる感染の拡大を阻止するための対策や、ワクチン・治療薬等の開発、治療体制の維持拡大に努めること。

以上

日本難病疾病団体協議会が要望書提出
2月19日

本会きほくの上部団体では難病患者に対するワクチンについて安全対策を万全にするよう要望書を厚労大臣並びにワクチン接種推進担当大臣あてに提出しました。（左文面）

とりわけ難病患者には様々な不安がある中で、学会等の専門家の協力を得ながら、安心して接種をうけられる対策を講じるよう緊急要望しました。



この度、会員の神森敦子さんから事務局に疫病退治の願いが送られてきました。閉店する近くのスーパーでいつも優しく対応してくれ、お世話になった店員さんたちにもお礼を込めて赤ペコを差し上げたそうです。

とても目が可愛いです。